

基本施策

14

国際交流・地域間交流の推進

2029年のあるべき姿

社会のグローバル化※が進む中で、市民が文化や価値観の異なる人々と交流し、異文化に対する理解が深まり、地域全体が異質な文化を受け入れやすい環境が整っています。さらに、多様な視点から見た地域社会・文化の再構築に繋がりは始めています。

現状と課題

- 外国人は本市において増加傾向にあり、日本語能力が十分でないこと等から、地域社会との間で軋轢、摩擦が生じています。外国人を地域の一員として受け入れる多文化共生※社会の構築が必要です。
- グローバル化※が進む現代社会において、本市の将来を担う青少年は国際的な視野を持って世界の多様な文化や価値観を踏まえ、柔軟に新しい取組を考え実行できる能力の醸成が必要です。

4年間の目標

- 市民レベルでの国際交流の促進
- 多文化共生※の推進
- 日本語教室開設への支援
- 外国人相談体制の充実
- 市民レベルでの国際交流の促進
- 国際感覚豊かな人材の育成
- 姉妹都市との交流促進

目標指標

指標	説明	現状値 (令和3年度)	中期目標値 (令和7年度)
国際交流や多文化共生※事業の満足度の割合	教室、講座等受講後のアンケート	92.3%	95.0%

基 本 事 業

(1) 国際交流・地域間交流の推進

国際交流・地域間交流の機会の充実を図り相互理解を促進することで、国際感覚豊かな人材の育成を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和元年度)	中期目標値 (令和7年度)
国際交流推進事業参加者数	国際交流推進事業の参加者数	194 人	200 人

主要事業



■国際交流推進事業

(2) 多文化共生※の推進

市内在住の外国人に、地域の人々との交流の機会や日本語学習の機会の提供をすることにより、多文化共生※社会の構築を図ります。

【評価指標】

指標	説明	現状値 (令和2年度)	中期目標値 (令和7年度)
多文化共生※事業参加者数	日本語教室等の参加者数	111 人	150 人

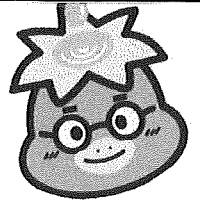
主要事業



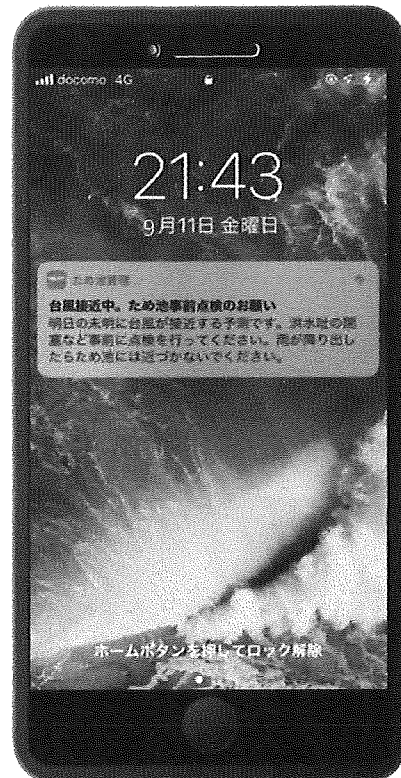
■多文化共生推進事業



ため池管理アプリ



▲ 地図画面イメージ



▲ プッシュ通知表示イメージ

ため池管理者の方向けに、「ため池管理アプリ」が登場！
ぜひ、ご活用ください。

ため池管理アプリの機能

被災情報を行政機関と共有！

プッシュ通知で情報提供！

通信不良時でも使えます！

日常の点検にも使えます！

**ダウンロードは
こちらから（無料）**

**ため池
管理**

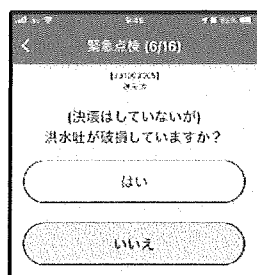


※詳しくは裏面をご覧ください

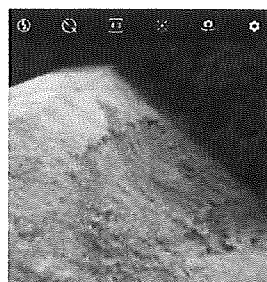
機能 1

災害時の点検結果を、関係行政機関に共有できます

災害時に行う緊急点検※注の結果をアプリから送信すると、市町村等の行政機関に即時に共有され、迅速な災害支援等につながります。



入力しやすい
一問一答形式



写真も送信可能

機能 2

注意喚起等の情報提供をプッシュ通知で受け取れます

台風接近時等に、国や都道府県からの管理に係る注意喚起等を受け取ることができます。

プッシュ通知の内容 (例)

気象情報に基づく注意喚起
(台風接近等)

管理のポイント

緊急点検の情報 など



プッシュ通知の
表示イメージ

機能 3

電波が届かない場所でも点検結果を入力できます

電波が届かない山間部のため池でも、現地でアプリに入力しておけば、通信が回復した時点で自動的に入力内容が送信されます。

通信環境を気にせずに
点検を行うことができるよ



機能 4

日常点検の結果も記録・共有することができます

日常点検の結果も記録し、過去の点検結果を閲覧することができます。



管理するため池を
地図上に表示

・点検結果に応じて、
ため池の状況を色で
分類して表示

・関係者との点検結果
の情報共有が容易

アプリの利用開始方法

Step 1

ストアからアプリを
ダウンロードする

ため池
管理



Step 2

管理者QRコード
を読み取る

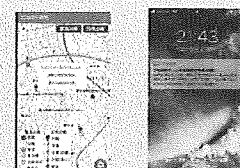
これらのQRコードの入手方法は、最寄りの
都道府県または市町村までお問合せください。

Step 3

ため池QRコード
を読み取る

Step 4

アプリを
利用できます



操作マニュアル
(農研機構ホームページ)



ため池管理アプリに係る問合せは、最寄りの地方
農政局農村振興部防災課 または問合せ窓口
(tameike-appli@maff.go.jp) までご連絡願います。